

天明校区施設一体型義務教育学校施設整備事業

審査講評

令和6年（2024年）1月

天明校区施設一体型義務教育学校施設整備事業者選定審議会

天明校区施設一体型義務教育学校施設整備事業者選定審議会（以下「審議会」という。）は、天明校区施設一体型義務教育学校施設整備事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（令和5年8月16日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに公表します。

令和6年（2024年）1月23日

天明校区施設一体型義務教育学校施設整備事業者選定審議会

委員長 田中 智之

目 次

第 1 事業概要	1
1 事業の名称	1
2 公共施設等の管理者等の名称	1
3 事業の目的	1
4 施設の概要（市要求水準）	1
5 事業方式	2
6 事業期間	2
7 事業の対象範囲	3
(1) 設計業務	3
(2) 建設・工事監理業務（PPA 事業を提案する場合は、太陽光発電を除く）	3
第 2 事業者の選定方法	4
1 審議会の構成	4
2 審議会の開催経過	4
3 事業者の選定方式	5
4 審査の流れ	6
第 3 提案審査	7
1 提案審査の概要	7
2 性能評価の評価方法	7
3 価格評価の評価方法	7
第 4 審査結果	8
1 入札参加資格審査	8
2 提案審査	9
(1) 提案審査に関する提出書類の確認	9
(2) 基礎項目審査	9
(3) 加点項目審査（性能評価）	9
(4) 価格評価	10
(5) 最優秀提案の選定（総合評価）	10
第 5 審査講評	11
1 入札参加者別の講評	11
2 総評	12

第 1 事業概要

1 事業の名称

天明校区施設一体型義務教育学校施設整備事業

2 学校施設等の管理者等の名称

熊本市長 大西 一史

3 事業の目的

本市では、令和 4 年（2022 年）12 月に策定した「天明校区施設一体型義務教育学校基本計画」に基づき、天明校区の小学校 4 校（中緑小学校、銭塘小学校、奥古閑小学校及び川口小学校）と天明中学校を統合し、施設一体型義務教育学校の整備を行うこととした。

本事業では、設計施工一括発注方式により実施することで、本市の求める要望等に最も適した提案を採用し、より効果的かつ効率的に質の高い公共サービスの提供を図ることを目的とする。

4 施設の概要（市要求水準）

本事業で計画している施設の概要は、次のとおりである。

表 1 本施設の概要

整備概要	想定面積等
[想定通常学級数（令和 9 年度）] ・前期課程：12 学級（各学年 2 学級） ・後期課程：6 学級（各学年 2 学級） [想定児童生徒数（令和 9 年度）] ・前期課程：263 名 ・後期課程：151 名 令和 6 年 4 月小規模特認校制度導入により、児童生徒数の増加が見込まれる。 [想定職員数] ・50 名	新校舎等：約 11,000 m ² （屋内面積とし、ピロティや吹きさらしの廊下などの屋外面積を除く。容積対象床面積とは異なる） グラウンド：9,500 m ² 以上 サブグラウンド：1,500 m ² 以上 駐車スペース：60 台以上 駐輪場：170 台以上（生徒・来客用）

表 2 本施設の諸室構成

エリア	室名
義務教育学校の 特徴となる諸室等	少人数教室、児童育成クラブ（多目的室）、交流スペース、総合図書館（総合図書エリア）、地域連携室、更衣室、防災備蓄倉庫、多目的活動室
普通教室	通常学級、特別支援学級、通級指導教室
特別教室	理科室、理科準備室、図工・美術室、図工・美術準備室、技術室、技術準備室、家庭科室、家庭科準備室、音楽室、音楽準備室・楽器庫、カウンセリング室、カウンセラー室
管理諸室	職員室、校長室、事務室、会議室、放送室、保健室、生徒会室、教材・物品室、職員更衣室
体育施設	ステージ、大体育館、小体育館、器具庫、放送機器室、ミーティング室、玄関、更衣室、男女トイレ・バリアフリートイレ、武道場、プール
共用部分	昇降口、来客用玄関、児童生徒用トイレ、職員・来客用トイレ、バリアフリートイレ、配膳室・プラットフォーム、廊下、階段、エレベーター、その他
その他	体育倉庫、部室、屋外トイレ

5 事業方式

本事業は、本市が事業者と締結する設計・施工請負契約に従い、事業者が、本施設に係る設計・建設等の業務を一括で行う方式（DB：Design Build）により実施する。

6 事業期間

本事業の事業期間は、契約締結日より令和 11 年（2029 年）3 月末までとする。

7 事業の対象範囲

本事業の対象範囲は、以下のとおりである。

(1) 設計業務

- ① 事前調査業務（必要に応じて現況測量、地盤調査、土壌調査及び振動・騒音測定等）
- ② 本施設の設計業務（解体設計、外構、太陽光発電設備等を含む）
- ③ 近隣対応業務
- ④ 電波障害調査業務
- ⑤ 本事業に伴う各種申請等の業務
- ⑥ その他、上記の業務を実施する上で必要な関連業務

(2) 建設・工事監理業務（PPA 事業を提案する場合は、太陽光発電を除く）

- ① 建設業務
- ② 什器・備品等の調達・設置業務
- ③ 工事監理業務
- ④ 既存施設等の解体・撤去業務（アスベスト対策を含む）
- ⑤ 近隣対応・対策業務（周辺家屋影響調査を含む）
- ⑥ 電波障害対策業務
- ⑦ 事後調査業務（近隣調査等）
- ⑧ 開校に必要な準備（現場見学会、完成見学会、パンフレット作成（3,000部）、施設に係る利用説明書等）
- ⑨ その他、上記の業務を実施する上で必要な関連業務

第2 事業者の選定方法

1 審議会の構成

審議会の構成は、以下のとおりである。

(第1回審議会)

(敬称略)

役職	分野	氏名	所属
委員長	学識経験者	田中 智之	熊本大学大学院先端科学研究部 教授
副委員長	学識経験者	竹内 裕希子	熊本大学大学院先端科学研究部 教授
委員	学識経験者	北園 芳人	株式会社 中央土木コンサルタント 北園研究室 室長 熊本大学名誉教授
委員	法曹関係者	藤木 美才	ふじき法律事務所 弁護士
委員	庁内関係者	榎木 敏之	熊本市立天明中学校長
委員	庁内関係者	内村 智	首席審議員兼学校施設課長

(第2回～第4回審議会)

(敬称略)

役職	分野	氏名	所属
委員長	学識経験者	田中 智之	熊本大学大学院先端科学研究部 教授
副委員長	学識経験者	竹内 裕希子	熊本大学大学院先端科学研究部 教授
委員	法曹関係者	藤木 美才	ふじき法律事務所 弁護士
委員	庁内関係者	榎木 敏之	熊本市立天明中学校長
委員	庁内関係者	内村 智	首席審議員兼学校施設課長

2 審議会の開催経過

審議会の開催経過は、以下のとおりである。

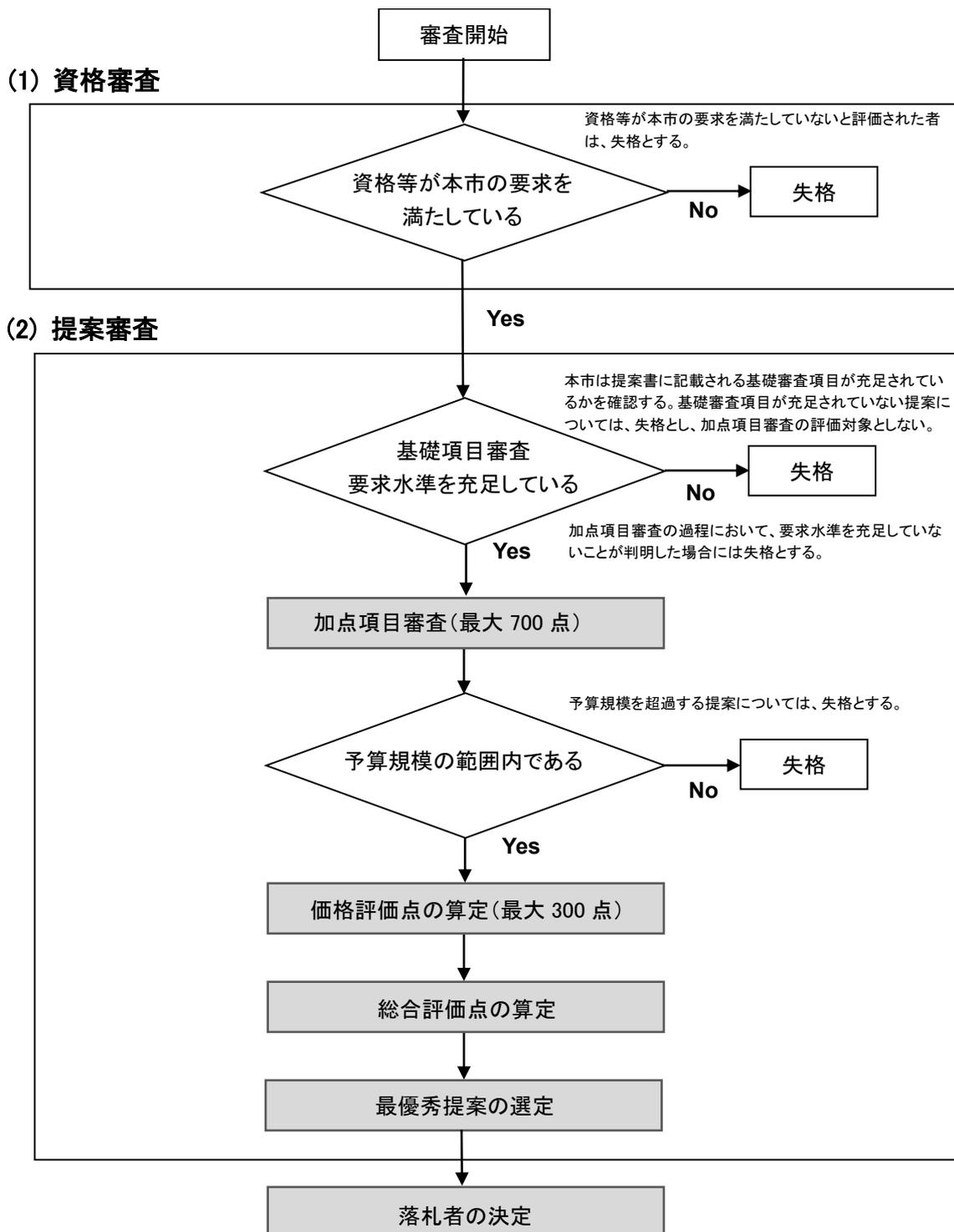
開催日時		協議事項
令和5年5月29日	第1回審議会	<ul style="list-style-type: none"> 実施方針（たたき台）に関する意見交換 要求水準書（たたき台）に関する意見交換
令和5年6月26日	第2回審議会	<ul style="list-style-type: none"> 実施方針及び要求水準書等について 落札者決定基準（案）について
令和5年12月8日	第3回審議会	<ul style="list-style-type: none"> 審査の手順について 基礎項目審査の結果について ヒアリング事項整理
令和5年12月11日	第4回審議会	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリング 提案内容審議 価格評価点の報告 最優秀提案者決定 審査講評案確認

3 事業者の選定方式

本事業では事業者による効率的・効果的な施設整備を求めることから、事業者の選定に当たっては、事業者の設計能力、施工能力を総合的に評価する必要があったため、入札説明書等で定めている条件や要求水準書を満たしていることを前提として、競争性の担保及び透明性の確保に配慮したうえで、総合評価一般競争入札方式により事業者を採用した。

4 審査の流れ

落札者決定までの審査の流れは、次のフローに示すとおりである。



(事業者選定基準より抜粋)

第3 提案審査

1 提案審査の概要

提案審査は、性能評価及び価格評価の総合評価により実施することとした。性能評価と価格評価における配点は、以下のとおりとした。なお、性能評価は審査の公平性を確保するため、入札参加者名を伏せて実施した。

評価項目	配点	備考
性能評価	700	
① 事業計画に関する事項	100	配点の割合：合計 700 点中 14.3%
② 設計業務に関する事項	390	〃 55.7%
③ 建設・工事監理業務に関する事項	150	〃 21.4%
④ 環境配慮に関する事項	30	〃 4.3%
⑤ 提案全体に関する事項	30	〃 4.3%
価格評価	300	
合 計	1,000	

2 性能評価の評価方法

性能評価の評価方法は、以下の6段階評価を行い、得点化した。

評価	評価基準	得点化方法
A	特に優れている提案である	配点×1.0
B	優れている提案である	配点×0.8
C	標準的な提案である	配点×0.6
D	やや物足りない提案である	配点×0.4
E	物足りない提案である	配点×0.2
F	具体的な提案がなされていない	配点×0.0

3 価格評価の評価方法

価格評価については、提案価格を以下の方法で得点化した。

$$\text{価格評価点} = 300 \times \frac{\text{入札参加者の提案価格のうち最低の提案価格}}{\text{提案価格}}$$

※最低価格を提示した提案に満点（300点）を付与する。

第4 審査結果

1 入札参加資格審査

市は6者の入札参加者から参加表明書及び入札資格審査に関する提出書類の提出を受け、各々が入札説明書に示す参加資格の要件について満たしていることを確認した。

なお、入札参加資格審査後に3グループから、入札辞退届が提出された。

受付番号	構成	企業名（担当業務）
S47	代表企業	光進建設株式会社（建設）
	構成員	株式会社浦辺設計（設計）
		新規建設株式会社（建設）
		大和設計株式会社（工事監理）
		西部ガステクノソリューション株式会社（PPA事業）
H16 辞退	代表企業	株式会社安藤・間 九州支店（建設）
	構成員	株式会社増永組（建設）
		株式会社梓設計 九州支社（設計）
		株式会社太宏設計事務所（設計）
		株式会社ジメント（工事監理）
F38 辞退	代表企業	株式会社浅沼組 九州支店（建設）
	構成員	株式会社岩永組（建設）
		株式会社安井建築設計事務所 九州事務所（設計）
		株式会社隈研吾建築都市設計事務所（設計）
		株式会社ライト設計（工事監理）
Z33	代表企業	株式会社豊工務店（建設）
	構成員	株式会社大建設 九州事務所（設計）
		株式会社産紘設計（工事監理）
		株式会社建吉組（建設）
		株式会社竹内工務店（建設）
H92 辞退	代表企業	松尾建設株式会社 熊本支店（建設）
	構成員	坂口建設株式会社（建設）
		株式会社久米設計 九州支社（設計）
		株式会社桜樹会・古川建築事務所（工事監理）
B39	代表企業	株式会社三津野建設（建設）
	構成員	株式会社環境デザイン研究所（設計）
		株式会社バオプライン熊本（工事監理）
		株式会社綜企画設計 熊本支店（設計）
		株式会社吉永産業（建設）
協力企業	株式会社みらいエナジー・パートナーズ（PPA事業）	

2 提案審査

(1) 提案審査に関する提出書類の確認

市は、入札書及び提案書類審査に関する提出書類がすべて揃っていることを確認した。

(2) 基礎項目審査

市は、入札参加者の提案内容について、落札者決定基準に掲げる基礎項目審査に関する審査項目を充足していることを確認した。

(3) 加点項目審査（性能評価）

審議会による加点項目審査（性能評価）の評価結果は以下のとおりである。

	加点審査項目	配点	性能評価点		
			S47	Z33	B39
1 事業計画全般に関する事項	本事業への基本的な考え方	40	27.2	30.4	33.6
	リスク管理及び事業継続の方策	20	12.8	12.0	12.8
	地域経済への配慮	40	25.6	33.6	22.4
	小計	100	65.6	76.0	68.8
2 設計業務に関する事項	配置計画	30	19.2	24.0	22.8
	施設計画	120	86.4	91.2	96.0
	外構計画	30	19.2	22.8	22.8
	外観、仕上計画、ユニバーサルデザイン、サイン計画	30	20.4	24.0	19.2
	構造計画	50	30.0	34.0	34.0
	設備計画	50	30.0	30.0	30.0
	防災計画、安全計画	50	30.0	36.0	36.0
	地域開放とセキュリティ	30	21.6	20.4	15.6
	小計	390	256.8	282.4	276.4
3 建設・工事監理業務に関する事項	スケジュール（工事工程）	50	34.0	32.0	34.0
	建設工事業務、解体・撤去業務に係る事項	70	42.0	42.0	42.0
	工事監理業務全般に係る事項	30	19.2	19.2	19.2
	小計	150	95.2	93.2	95.2
4 環境配慮に関する事項	環境配慮に係る事項	20	14.4	14.4	14.4
	ZEB 認証取得に係る事項	10	5.0	2.0	5.0
	小計	30	19.4	16.4	19.4
5 提案全体に関する事項	提案全体に係る事項	30	20.4	22.8	22.8
	小計	30	20.4	22.8	22.8
合計		700	457.4	490.8	482.6

※ 落札者決定基準に基づき、性能評価点は小数点以下第2位を四捨五入した。

(4) 価格評価

価格審査における評価結果は次のとおりである。B39グループの提案価格が予定価格を超えたため、失格とした。

	配点	S47	Z33	B39
提案価格 (税抜き)	—	5,499,000,000円	5,460,000,000円	7,062,090,000円
価格評価点	300点	297.9点	300点	失格

※予定価格（税抜き）：5,500,000,000円

(5) 最優秀提案の選定（総合評価）

性能評価点及び価格評価点を合計した総合評価点は次のとおりである。

	S47	Z33	B39
性能評価点	457.4点	490.8点	482.6
価格評価点	297.9点	300.0点	失格
総合評価点	755.3点	790.8点	失格
順位	2位	1位	—

以上より、審議会は、Z33グループの提案を最優秀提案として選定した。

第5 審査講評

1 入札参加者別の講評

各グループともに、本事業の目的、本市初の施設一体型義務教育学校の特色を理解した上で独自の提案がなされていた点や、発達段階に応じた教育環境の整備、災害時における機能や地域開放とセキュリティ、地元事業者との連携等についての提案等を評価した。

【S47 グループ】

- ・日常的に使用する動線が地域開放時にも利用できる有効な経路が明快に確保されている点や災害時に有効な設備計画、校舎に近接した芝生広場の計画の提案を高く評価した。
- ・普通教室が学びのステージ毎に3フロアに配置されていること、多目的活動室、様々な交流活動が可能になる階段状の教室の提案がなされている点を評価した。
- ・一方で、グラウンドの狭あいさやグラウンドと校舎の一体的な利用、防災面での職員室の配置等について懸念が残った。

【Z33 グループ】

- ・ゆとりあるグラウンドやサブグラウンドの確保による体格差・活動内容の違いに配慮した運動スペースが確保されている点や災害時に有効な設備計画、敷地中央を通るスクールストリートの確保による動線の明確化・周遊性の確保の提案を高く評価した。
- ・特別教室の多目的性・有効活用についてパブリックスペースが充実していることや、将来的な児童生徒の増減等に対し柔軟に対応可能な普通教室を含む諸室計画の提案を評価した。
- ・昇降口から交流スペース、中庭、総合図書館までつながる連携性や、多目的活動室と地域連携室を活用した新たな地域開放のモデルとなり得る可能性を評価した。
- ・地下部分の施設の止水対策にかかる懸念点については、十分に検討された提案であることを評価した。
- ・地域経済に配慮した提案がなされている点を高く評価した。

【B39 グループ】

- ・義務教育学校の特徴を生かし、児童生徒の発達段階に応じた階層構成・諸室配置、新しい教育のあり方、総合図書館を中心とした8の字型を主軸に配置された教室群が多様な形で形成されており、児童生徒が様々な経験が可能となる提案を高く評価した。
- ・また、地域の原風景・学びの風景として周辺環境に配慮した施設計画を評価した。
- ・防災面から職員室を2階に配置する一方で、1階のセキュリティ面や、廊下を遮るような計画で直線が少なく、階段も開口部が狭く閉鎖的であること等、災害時の児童生徒の動線や視認性について懸念が残った。

2 総評

本事業に参加した各入札参加者の提案内容は、本事業の趣旨を深く理解し、独自のノウハウや創意工夫が盛り込まれ、本市初の施設一体型義務教育学校の実現に向け、非常に期待できるものであった。提案書作成における努力に対して、各入札参加者に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げたい。

審議会では、落札者決定基準に基づき、各審査項目について厳正かつ公正に審査を行った結果、Z33 グループ（代表企業：株式会社豊工務店）を最優秀提案者として選定した。

今後、本事業を実施するに当たり、Z33 グループには、要求水準及び提案内容を確実かつ円滑に履行するとともに、以下の事項について十分に配慮した、質の高い公共サービスの提供を希望する。

- 普通教室の分散配置、児童生徒の発達段階に応じた教室区分やオープンスペースのあり方、学びのステージが上がる度に達成感を感じることができるような教育環境の多様性について、実際の学校運営を考慮し、市及び学校関係者と協議の上、計画を進めること。
- 南側メインエントランスと敷地境界の間が比較的狭いため、日常時や災害時の大人数利用に支障を来さない配置計画について検討すること。
- スクールストリートについて、さまざまな活動や賑わいを感じ、魅力的な場所になるようなデザインや設えを検討すること。
- 交流ステップ、みんなのいわ、総合図書館が連携し、異学年交流や柔軟で多様な学びが促進するような、空間の仕掛けや設えについて検討すること。
- 外壁ルーバーのメンテナンス性への配慮や地下部分諸室の止水対策等は十分に検討を行った上で、対応すること。
- 普通教室の分散配置の検討と併行して、低学年用の教室から低学年用の庭に続く安全で利用しやすい動線や配置を検討すること。
- 地域開放とセキュリティの関係について、職員室等の配置も含めて十分に検討すること。
- 災害発生時の避難所として、十分な機能確保を行い、特に特別支援学級の児童生徒の避難経路の確保には十分に留意した上で、計画を進めること。併せて、職員室を2階に配置するプランについても検討すること。
- 市と良好なパートナーシップを築き、円滑に事業を推進すること。